くみあいNEWS

第１５３３９号
2024年1月22日(月)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区(本部)（54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

執行部衛生巡視結果について

和歌山労組は10月2日から11月30日にかけて、各室・工場のインフラ整備の状況と第10回生活総点検活動における衛生に関する事項の実態把握を行うべく執行部衛生巡視を実施しました。その結果、衛生的に問題のある箇所や構内共用施設において早急に改善が必要と判断した3件について、12月12日に会社に改善要請をしました。

今後も職場労使委員会などで解決が図ることのできない衛生的に問題のある箇所については、引き続き執行部が現場を確認した上で会社に改善要請をしていきます。





支　部	内　　容
製銑原料	№５焼結更衣室の天井の広範囲にカビが生えており衛生上問題がある。
海南整備	海南整備事務所１階男子トイレの洋式便座は二台あるが、配管詰まりが頻繁に発生するため現在使用不可となっている。また、配管詰まりの影響で、トイレ内に臭いが充満している。
	海南整備事務所１階女子トイレには、便座が一台しかなく、女性社員の増加や構内関係者も使用することから、便座の数が不足している。

年始安全祈願祭を湊神社で執り行いました

去る１月５日（金）に、和歌山労組は関西製鉄所和歌山地区で働くすべての仲間の１年間の安全と健康を祈願する安全祈願祭を、湊神社で執り行いました。

今年も関西製鉄所和歌山地区で働くすべての皆様の安全意識の向上を目指し取り組みを進めてまいります。組合員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。



「年末年始安全強化活動」を展開中

和歌山労組は、関西製鉄所和歌山地区で働く仲間の「安全と健康の確保」を目的に、12 月１日から１月 31 日の２ヶ月間「年末年始安全強化活動」に取り組んでいます。

執行部・支部長合同の門前立哨と各室・工場への激励巡視を行い、組合員の皆様へ「元気に出勤　笑顔で帰宅」して欲しいというという思いで「ご安全に！」の声かけを行いました。

引き続き、労働組合は安全取り組みを積極的に展開してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。





2024 年　和歌山労組　年間安全スローガン

「目でよし手でよし声でよし
危険の芽を摘む　指差呼称」

堺地区で安全決起大会（餅つき）が開催されました





昨年末 12 月 26 日（火）関西製鉄所形鋼部主催による、働く仲間の安全と健康を祈願する安全決起大会（餅つき）が開催されました。

本安全決起大会には三輪形鋼部長を初め、日本製鉄の社員そして友和協力会より多数の方々が参加され、約 4 年ぶりとなった安全決起大会の開催を喜ぶ声が多く、参加された方々は元気よく餅をつき、大いに盛り上がりを見せていました。

最後は大形・設備総務支部によるつき納めで幕を閉じました。

今後も関西製鉄所和歌山地区で開催された各種イベント内容などを組合ニュースで発信していきます。

組合員投稿コーナー

今回は「私の地元自慢」をテーマに投稿をいただきました!

ご安全に！ 小径製管支部の小角（こかど） 啓太（けいた）です。

私の地元日高町は「元祖クエの町」です。2018 年のニッポン鍋グランプリでは「和歌山日高の天然クエ鍋」で見事優勝‼ 日本一の鍋に輝きました。クエは捨てるところがほとんどなく 98%食べることができます。味は上品で深みのある味わいで一度食べたらほかの魚は〝クエ〟んといわれるほど絶品です。

私も数年前に食べたきりで、土日は 10 歳の息子の少年野球に明け暮れ、家でも 7 歳の娘、5 歳、0 歳の息子の子育てと忙しい毎日ですが、ボーナスも入ったので今年こそは地元の天然クエ鍋を食べに行こうと思います。

少し値段は高いですが、皆さんも一度日高町に「クエ」を食べに来てはいかがでしょうか。



「釜石支援カンパ」のお礼が届きました

皆様にご協力いただいた年末助け合いカンパの中から、例年「釜石支援カンパ」を実施しており、先般、釜石労組よりカンパのお礼状が届きましたので、ご紹介させていただきます。

２０２４年１月吉日

日本製鉄和歌山労働組合
組合長　中濱　秀之　様

日本製鉄釜石労働組合
組合長　小島　安友

東日本大震災で被災した組合員等への支援のお礼

謹啓

大寒の候、日本製鉄和歌山労働組合様におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、和歌山労働組合の皆様には、東日本大震災から今日に至るまで物心両面にわたり心温まるご支援を頂戴するとともに、昨年の 12 月には、組合員の皆様の心のこもった義援金を届けて戴きまして誠にありがとうございました。

昨年の 3 月に 13 回忌を迎え、あの東日本大震災から過ぎていく時間を顧みているなか、今でも変わらぬ、そして、これまで長きに渡るご支援を戴き感謝の気持ちでいっぱいであります。皆様からの暖かいご支援は、被災された方々のお役に立てて戴きますようギフト券及びフラワー券に代えてお渡しさせて戴きました。

日本製鉄釜石労働組合を代表し感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

釜石地域の状況についてお伝えいたします。

昨年に新型コロナの行動制限が緩和されたものの、なんとなく気にしながら行動している昨今、最近では季節柄なのかマスク姿をよく見かけるようになりました。その様ななか、これまで中止されていた様々なイベントは復活しております。なかでも釜石トライアスロン、仙人マラソン、釜石よいさ、などは大いに盛り上がり開催されました。また、今シーズンが始まったラグビーリーグワンでは、日本製鉄釜石シーウェイブスがディビジョン 1 昇格を目指し奮闘しております。開幕戦は釜石復興スタジアムで入場者数 1200 人超、第 2 戦の大阪では 8500 人超と過去最高を記録しましたが、未だ勝利を掴めずにおります。しかし、まだ始まったばかり、今季での昇格を目指し釜石地区の総力を上げて応援してまいります。

街の復興については、公共事業のインフラ整備は完了し企業や個人による利用が進みつつありますが、なかなか空き地は埋まらずにおります。また、釜石市の人口は年に 600～700 人減少しており近々3 万人を割ると予測され、ついに昨年の 11 月に現実のものとなってしまいました。この様な状況にあるため、全国的に懸念されている労働人口不足による影響が釜石地区で顕著に現れております。当社や関連企業の採用難はもとより、公共交通機関のバスやタクシーの運転手不足による減便、工場を拡大した企業の外国人労働者の増加、そのため外国語専門学校の開設など様々と影響を及ぼしております。

自治体としても少子高齢化対策は喫緊の課題との認識であり、企業の誘致にも動いておりますが、肝心の労働力確保が出来ず難しいため、今ある企業の拡充を支援し住みやすい街にすることで少しでも流出を止める政策をとっております。被災された方々の生活復興は地域経済と切っても切れない関係にあります。コロナ禍での制限もなくなりました。これからの街が活性化することを期待するとともに地域のためにも活動を続けてまいります。

和歌山労組の皆様には釜石の復興した姿を視て戴きたいと思います。

釜石労働組合は、皆様から戴いた支援や激励を心の糧に今後も全力で各種活動に取り組み、組合員および釜石地域の復興に向け一丸となって頑張る所存であります。季節柄、一段と寒さが厳しくなってきております。皆様におかれましては、ご健康に留意され益々ご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

末筆ながら貴労働組合のご発展をお祈りし、略儀ながら書中をもってお礼に代えさせて戴きます。

謹白